

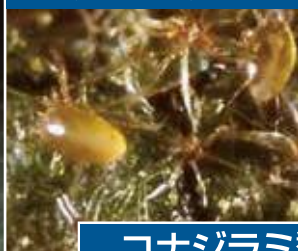
まったく  
新しい作用性で、  
やっかいな害虫も  
見逃さない！



モベント<sup>®</sup>X  
フロアブル



チャノホコリダニ



カイガラムシ類



コナジラミ類



トマトサビダニ



アブラムシ類



ハダニ類



アザミウマ類



新しい効き目、行き場なし。

詳しい  
製品情報は  
こちらから



難防除害虫に安定した効果

幅広い吸汁性害虫に有効

優れた浸透移行性と長期の残効性

1製剤で2つの使い方

## 適用病害虫と使用方法

2021年8月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	使用方法	使用回数*	
						本剤	スピロトラマト
トマト ミニトマト	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 トマトサビダニ	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回
なす	うどんこ病	500	50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	
なす ピーマン とうがらし類	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 チャノホコリダニ ハダニ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回 (灌注は1回)
	アブラムシ類 コナジラミ類	500	50mℓ/株 25~50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハダニ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回 (灌注は1回)
	アブラムシ類 コナジラミ類	500	50mℓ/株 25~50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	株元 灌注	1回	
ズッキーニ	コナジラミ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布		
ばれいしよ	アブラムシ類	64	1.6~3ℓ/10a	7日*	無人航空機による 散布	3回	3回
		100	3~5ℓ/10a				
		160	5~8ℓ/10a				
		200	8~10ℓ/10a				
		250	10~12ℓ/10a				
はくさい	アブラムシ類	320	12~16ℓ/10a	7日*	無人航空機による 散布	3回	3回
		400	16~20ℓ/10a				
キャベツ	アブラムシ類	24	1.6~1.7ℓ/10a	7日*	無人航空機による 散布	3回	3回
		32	1.7~2ℓ/10a				
		40	2~2.8ℓ/10a				
		50	2.8~3.5ℓ/10a				
		64	3.5~4.5ℓ/10a				
		80	4.5~5.5ℓ/10a				
		100	5.5~7ℓ/10a				
		125	7~8.5ℓ/10a				
		160	8.5~11ℓ/10a				
		200	11~14ℓ/10a				
		250	14~17ℓ/10a				
		320	17~20ℓ/10a				
ブロッコリー	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000~4,000	100~300ℓ/10a	7日*	無人航空機による 散布	3回	3回
		24	1.6~1.7ℓ/10a				
		32	1.7~2ℓ/10a				
		40	2~2.8ℓ/10a				
レタス	アブラムシ類	2,000~4,000	100~300ℓ/10a	14日*	散布		
		24	1.6~1.7ℓ/10a				
しそ	アザミウマ類	2,000	100~300ℓ/10a	14日*	散布		
		24	1.6~1.7ℓ/10a				

▲：散布、ただし花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用して下さい。  
※1：みょうが(花穂)の収穫前日まで。ただし、花穂を収穫しない場合にあつては開花期終了まで。  
※2：摘花後~球根掘取り前まで。  
\*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前日数と本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	使用方法	使用回数*							
						本剤	スピロトラマト						
非結球レタス	アブラムシ類 アザミウマ類	24	1.6~1.7ℓ/10a	14日*	無人航空機による 散布	3回	3回						
		32	1.7~2ℓ/10a										
		40	2~2.8ℓ/10a										
		50	2.8~3.5ℓ/10a										
		64	3.5~4.5ℓ/10a										
		80	4.5~5.5ℓ/10a										
		100	5.5~7ℓ/10a										
		125	7~8.5ℓ/10a										
		160	8.5~11ℓ/10a										
		200	11~14ℓ/10a										
アスパラガス	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000~4,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
未成熟そらめ	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000	100~300ℓ/10a	14日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
ほうれんそう	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000~4,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
てんさい	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000~4,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
メロン すいか	アブラムシ類 アザミウマ類	2,000	50mℓ/株 25~50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	3回 (灌注は1回)						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
かぼちゃ	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	24	2~3.6ℓ/10a	7日*	無人航空機による 散布	3回	3回						
		32	1.7~2ℓ/10a										
いちご	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	2,000	100~300ℓ/10a	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	3回 (灌注は1回)						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
		32	1.7~2ℓ/10a										
		40	2~2.8ℓ/10a										
なし	アブラムシ類 カイガラムシ類 ハダニ類	2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
りんご	アブラムシ類 カイガラムシ類 ハダニ類	2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
かんきつ	アブラムシ類 カイガラムシ類 ミカンサビダニ アザミウマ類 チャノホコリダニ	32	4~6ℓ/10a	7日*	無人航空機による 散布	3回	3回						
		40	6~8ℓ/10a										
		50	8~10ℓ/10a										
		80	10~15ℓ/10a										
		100	15~20ℓ/10a										
		160	20~30ℓ/10a										
		250	30~40ℓ/10a										
		320	40~50ℓ/10a										
		かき	アブラムシ類 カイガラムシ類					2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布	3回	3回
								24	1.6~1.7ℓ/10a				
ぶどう	アブラムシ類 ハダニ類 ブドウサビダニ	2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
もも ネクタリン 小粒核果類	アブラムシ類 ハダニ類 カイガラムシ類	2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
おうとう	アブラムシ類 ハダニ類	2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
びわ	アブラムシ類 ハダニ類	2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
オリーブ	アブラムシ類 カイガラムシ類	2,000	200~700ℓ/10a	14日*	散布	2回	2回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
みょうが(花穂) みょうが(莖葉)	アブラムシ類	2,000	100~300ℓ/10a	前日*	散布	3回	3回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										
にんにく	アブラムシ類 ハダニ類	2,000	100~300ℓ/10a	14日*	散布	2回	2回						
		24	1.6~1.7ℓ/10a										

### 注意事項

- 使用前に良く振ってから使用して下さい。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。  
1) 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。  
2) 散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用して下さい。  
3) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布装置その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
- 軟弱徒長苗や極端にスチーン(若い苗) (苗(鉢苗、プラグ苗))に灌注や株元灌注すると薬害を生じるおそれがあるので、本剤の使用は控えて下さい。きゅうりに株元灌注する場合には、薬液が新芽にかかることと縮葉等の薬害を生じる場合があるので、かからないように処理して下さい。
- なすにおける機能性展着剤との混用は、混用する機能性展着剤によって薬害を生じるおそれがあるので、事前に確認してから使用して下さい。
- はくさいに使用する場合は、曇天および夕刻等の散布後に葉面上の薬液が乾きにくい条件で薬害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- ぶどうに使用する場合、品種「瀬戸ジャイアント」では新葉に褐変を生じることがあるので注意して下さい。
- やなぎに対しては薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意して下さい。
- 最高分げり期から出穂開花期の稲に本剤がかかると不稔などの薬害を生じる場合があるので、かからないように注意して下さい。
- ミツバチは、灌注処理後および散布翌日放飼が可能です。
- 本剤はマルハナバチに影響があるので、本剤を使用する場合には他の方法で受粉作業(人工授粉、植物ホルモンなど)を行って下さい。
- いちごでチリカブリダニおよびミヤコカブリダニを使用する栽培場面では、灌注、散布いずれも、チリカブリダニは処理後35日以上、ミヤコカブリダニは処理後30~35日程度の間隔をおいて放飼して下さい。
- スワルスキーカブリダニを使用する栽培場面では灌注、散布いずれも処理後、20~30日程度間隔をおいて放飼して下さい。
- 薬害に対して長期問毒性があるので、周辺の農薬にかからないようにして下さい。
- 本剤の同一圃場での連続散布はさけ、作用性の異なる薬剤とのローテーション散布を行って下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

## バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00,13:00~17:00  
土日祝日および会社休日を除く